



市民創世会
木村 愛子
議員



中山間地のまちづくりについて

問 河和田地区の人口は、福井豪雨以降急激に減り、多い時より2,000人ほど減少している。市の人口減少対策および婚活事業の取組は。

答 鯖江市婦人福祉協議会に委託している結婚相談事業をはじめ、県や市町が構成するふくい結婚応援協議会において、マッチングシステムの活用や広域的な婚活イベントなどを行っている。また、結婚新生活応援事業として、国・県の事業を活用し、39歳以下の夫婦世帯を対象に、結婚に伴う新生活費用の補助を行っている。また、学生や若い世代を対象に、将来の様々なライフイベントに希望を描くことができるよう、セミナーや体験プログラムの実施など、結

婚や子育てについての情報提供や考える機会、場の提供に取り組んでいく。

問 耕作放棄地の現状は。利活用に地域おこし協力隊との連携などは考えられないか。

答 耕作放棄地は、市全体では約72ヘクタール、河和田地区では約23ヘクタールである。今後は、農業者の減少と高齢化等により増加する可能性がある。原因となる生産力の低下や生活環境の悪化を解消するため、県の中山間地域事業などを活用し、機械購入補助等の支援を行っている。また、地域おこし協力隊の受入れや、県の園芸カレッジ卒業者や就農希望者への呼びかけ、農業関係者や関係団体とも協議しながら、耕作放棄地の対策や活用について検討する。

委員会で先進地を視察しました

総務委員会

10月5日(木)～10月6日(金)

【山口県山口市 小郡総合支所】

住民主導によるコミュニティ交通への支援について

山口市では、平成17年の合併による市域拡大に伴い、交通不便地域の住民の足をどう確保するかが課題となり、コミュニティタクシー事業を導入した。各地域では、住民が主体となってそれぞれの地域に適した運行スタイルや経路、ダイヤを検討し、地元の事業者運行を委託。市は事業実施にかかる経費を補助している。



【山口県周南市】

公共施設再配置について

徳山駅前賑わい交流施設について

周南市では、平成15年の合併により市の施設数は増加したが、人口は減少傾向となる中、山口県内では最も早く公共施設の再配置に着手した。①サービス、②コスト、③量、④性能の4つの視点から長寿命化など4つの計画を策定。施設をなくしても地域にサービスは残すという観点から、地域住民とともに施設の在り方を考えるモデル事業を実施している。



議員の視察とは？



自治体が抱える課題解決のヒント等を得るため、先進的な取組を行っている自治体や施設、学校や企業などを訪問し、研修や意見交換などを行います。得られた知識や情報は、市に持ち帰り、市政の発展と向上につなげています。

鯖江市議会でも視察を受け入れています！

鯖江市の先進的な取組について、全国各地の市町議会が視察に訪れています。



令和5年度の実績(R5.10月末現在)

- ・宮城県大和町 ・新潟県糸魚川市
- ・富山県滑川市 ・長野県上田市
- ・愛知県弥富市 ・大阪府河内長野市
- ・広島県福山市

これまでの視察内容の一部

- ・鯖江市役所JK課について
- ・部活動の地域移行について
- ・異動受付支援システムについて
- ・めがねのブランディング戦略について
- ・女性が活躍しやすいまちづくりについて